

（２）亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想（都市部編）の基本方針

１）基本方針

「亀岡の自然 100 選」の冒頭において、亀岡は「聖なる水と緑の奏でる知恵の郷」と紹介されている。現在でも町家の残る歴史ある城下町、観光の拠点である馬堀駅周辺、比較的新しい住宅街であるつつじヶ丘、里地・里山との境界に位置する大井・千代川など、亀岡のそれぞれの地区は多様性に富んでいる。一方で、どの地区でも「盆地の景観」と澄んだ水、そこから派生する動植物等の自然とのつながりを感じることができる。亀岡の至る所で形を変えて現れるこれらの資源を活かし、亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想（都市部編）では、特に「盆地」地形とそこから派生する様々な自然・文化資源の源となる「水」に焦点をあて、未来を向きながらも故郷の歴史を感じることができる「庭園都市」を目指す。

①自然に関わる人々の知恵と技術を次世代に継承する

歴史・文化資産を保全しながらも、伝統的な知恵を活かして水と緑との共生を図る。また、駅北やウェルカムガーデン、散策路の整備を通じて街全体をフィールドミュージアム化することで、亀岡に受け継がれてきた文化を発信する。加えて、農業体験や環境教育の場として農地や公園を活用する。

②美しい景観資源を市民と共に発見し、輝かせる

盆地の山々との視覚的なつながりを随所で演出し、山々に囲まれた亀岡特有の地形を体感できる街づくりを行う。また、ウェルカムガーデン・公園・花壇などを市民と共につくりあげ、霧・コケ・草花・名木・名水など亀岡の自然資源や文化的景観を一層魅力的に発信する。オープンガーデンやツアーなどのイベントを通じた市外への魅力の周知も図る。

③食・暮らしに関わる地域資源を広げる

街の随所をフィールドミュージアム化・ミニ博物館化することで、亀岡に受け継がれてきた文化を発信する。また、亀岡市内の都市農村交流によって、イベント的に開かれる市場や街の拠点となるカフェやレストランにおいて、市民や観光客が地域の特産物に出会う機会を創出する。

④澄んだ水を守る

「水から守る（水害の緩和と防止）、水を守る（地下水涵養・水質保全）」をコンセプトに、今日世界的に注目が集まっている「雨庭」を街づくりの軸に据え、「グリーンインフラ先端都市」を目指す。また、豊かな水が育む亀岡に象徴的な動植物や文化的景観も街づくりに活かす。

⑤ 資源を結ぶミュージアム回廊を構築する

古来より、亀岡は張り巡らされた街道がつながる「道」の街であった。本構想においても、都市部内の各エリア、そして、都市部と里地里山地域、亀岡市内と市外を「道」によって一つに結ぶ。

2) 構想におけるゾーニング

【観光振興エリア】J R 亀岡駅エントランス・城下町・庭園都市基地・柏原・J R 馬堀駅エントランス・山本集落・篠歴史

【良好な住環境エリア】亀岡「北」庭園町、亀岡「南」庭園町、馬堀庭園町

【軸となる道】山陰散歩道（徒歩のつながり）、亀岡パークウェイ（車のつながり）、ふるさとの車窓道（電車のつながり）、雨庭の道

【観光振興エリア】

① J R 亀岡駅エントランスエリア

【テーマ】庭園都市となる「亀岡らしさ」を感じることができる玄関口

【取り組みの例】

- ・盆地と水・歴史を感じさせるウェルカムガーデンを整備する。
- ・J R 亀岡駅南から城下町へ誘う動線を、わかりやすく歩いて楽しい道として整備する。
- ・クニッテルフェルト通りを「雨庭の道」化し、亀岡「南」庭園町エリアへとつなぐ。
- ・J R 亀岡駅駅北開発では、牛松山への視覚的中心線を確保し、盆地の山への精神的なつながりを演出するとともに、亀岡らしい郷土色豊かな植栽で彩る。
- ・J R 亀岡駅駅北の新たな住宅エリアでは、各家に整備された雨庭を街区レベルでネットワーク化することで「雨の道」を整備し、アユモドキなどの生息環境を守る水にやさしい街とする。加えて、信玄堤などの伝統の減災方法にも学び、保津川の氾濫と賢く付き合う「柳に風型」都市を目指す（可能ならば、スタジアムエリアも柳に風型をめざす）。

② 城下町エリア

【テーマ】観光拠点でもあるゆっくりと散策したくなる緑の歴史街

【取り組みの例】

- ・歩行者優先の街路がポケットパークをつなぎ、一休みしながら散策を楽しむことができる。
- ・醤油・お酒・野菜・花の種・苗や工芸品などの特産物を販売する市場を開催し、定期的な観光客誘致イベントを実施する。仮設のポケットパークなども設置する。
- ・城下町版雨庭プランター・雨庭ポケットパークにより、伝統的空間に調和しながら亀岡に特徴的な植栽で彩る。
- ・大本花明山植物園をフィールドミュージアムの拠点として活用する。

③ 庭園都市基地エリア

【テーマ】庭園都市「亀岡」の拠点

【取り組みの例】

- ・ガレリア・市役所を情報発信やコミュニティの集会所として、本構想の実現に向けての活動拠点とする。
- ・新しい亀岡のイメージを発信し、体感できる場所としてウェルカムガーデンを整備する。
- ・庭園都市の拠点である市役所から、亀岡盆地のパノラマを実感できる平和台公園展望台へのアクセスを改善し、手軽に亀岡を一望できる場所を整備する。
- ・名木・名水などの各種ツアーやオープンガーデンなどの季節のイベントを活用して観光客誘致を図る。
- ・駐車場・各家々の前庭・道路脇など、市内に散りばめられた雨庭・雨庭プランターにより優しい街並みを演出する。

④ 柏原エリア

【テーマ】観光拠点をつなぐ散策道

【取り組みの例】

- ・町家が残る街路を歩行者優先の歩いて楽しい道として整備し、観光拠点である J R 馬堀駅と J R 亀岡駅周辺をつなぐ。
- ・道路を歩行者優先型に整備するための雨庭シケイン、町家型雨庭プランターで、伝統的ながらも亀岡の緑を感じられる街道とする。
- ・伝統的な水路の景観を楽しめる街道とする。

⑤ J R 馬堀駅エントランスエリア

【テーマ】観光拠点として散策意欲を刺激する玄関口

【取り組みの例】

- ・トロッコ列車と保津川下りの二大観光の拠点であることを活かし、亀岡の他の観光名所へ誘う玄関口として整備する
- ・特に、柏原、J R 亀岡駅方面、篠地区、鶴ノ川遊歩道や山本集落への動線は、わかりやすく散策意欲を刺激する道として整備する。

⑥ 山本集落エリア

【テーマ】文化的景観を保全・活用する街

【取り組みの例】

- ・名水・名木・石垣・石垣と一体化した庭木などを活かし、観光拠点として広報する。
- ・ため池の親水公園化などにより、伝統的な水資源に関わる景観を活かす。

⑦ 篠歴史エリア

【テーマ】歴史を感じる緑の街道

【取り組みの例】

- ・山陰道と鶴川散歩コースの2つの道を軸に、馬堀エリアからの観光客の誘致を図る。
- ・名水・名木、寺社スポットの案内とネットワーク化された散策路を整備し、回遊性と誘客力を向上させる。

【良好な住環境エリア】

⑧ 亀岡「北」庭園町エリア

【テーマ】花と緑が彩る上質な日々の暮らしを楽しむ街

【取り組みの例】

- ・五つの住区基幹公園をリニューアルすることで地域のグリーンインフラの拠点とする。
- ・亀岡に特徴的な植栽を施した各家々の雨庭・雨庭プランターが優しい街並みを演出する。
- ・大小の雨庭は、水害を緩和しセーフコミュニティを推進するとともに、湧水と河川の水質を保全する。また、重要な文化的景観である洗い場のある水路の水質も守る。
- ・大藪公園、大成公園・河原町公園などの小川と隣接した公園は、水路のエコアップを図るとともに、河川と公園の一体化を図る。
- ・雨蛙公園、鉄道歴史公園、大井西部公園、今後整備予定の公園は、雨庭や遊水地としての機能を持たせる。植栽も亀岡盆地の特色を活かした植物を使用する。
- ・ガーデンショーなどを催すハレの日では、大井西部公園などの大きな公園を拠点に、オープンガーデ

ンなどプライベート空間も一体となって祭を演出し、観光客誘致を図る。

⑨亀岡「南」庭園町エリア

【テーマ】花と緑が彩る上質な日々の暮らしを楽しむ街

【取り組みの例】

- ・住区基幹公園をリニューアルすることで地域のグリーンインフラの拠点とする。クラスター状の公園群を活かして、新たに整備されるものも含めて緑道・雨庭街道などでネットワーク化する。
- ・公園や各家々の雨庭・雨庭プランターが、優しい街並みを演出する。大小の雨庭は、河川の水質保全や地下水涵養、水害の緩和に貢献することで下流に配慮する。
- ・コケの生育に適した生育環境であることから、公園の苔庭化や、街区の壁をコケアートで飾り、霧の街をコケによって視覚的に演出する。
- ・近年シカ害などで存続が危ぶまれる林床の植物を公園で育む。
- ・ガーデンショーなどを催すハレの日では、大日谷公園などの大きな公園を拠点にし、オープンガーデンなどのプライベートな空間も一体となって祭を演出し、観光客誘致を図る。

⑩馬堀庭園町エリア

【テーマ】花と緑が彩る上質な日々の暮らしを楽しむ街

【取り組みの例】

- ・新たに整備される住区基幹公園を地域のグリーンインフラの拠点として整備する。
- ・田んぼの畦の植生などを生かした雨庭公園で、水に優しい街とする。
- ・亀岡に特徴的な植栽を施した雨庭・雨庭プランターが優しい街並みを演出する。

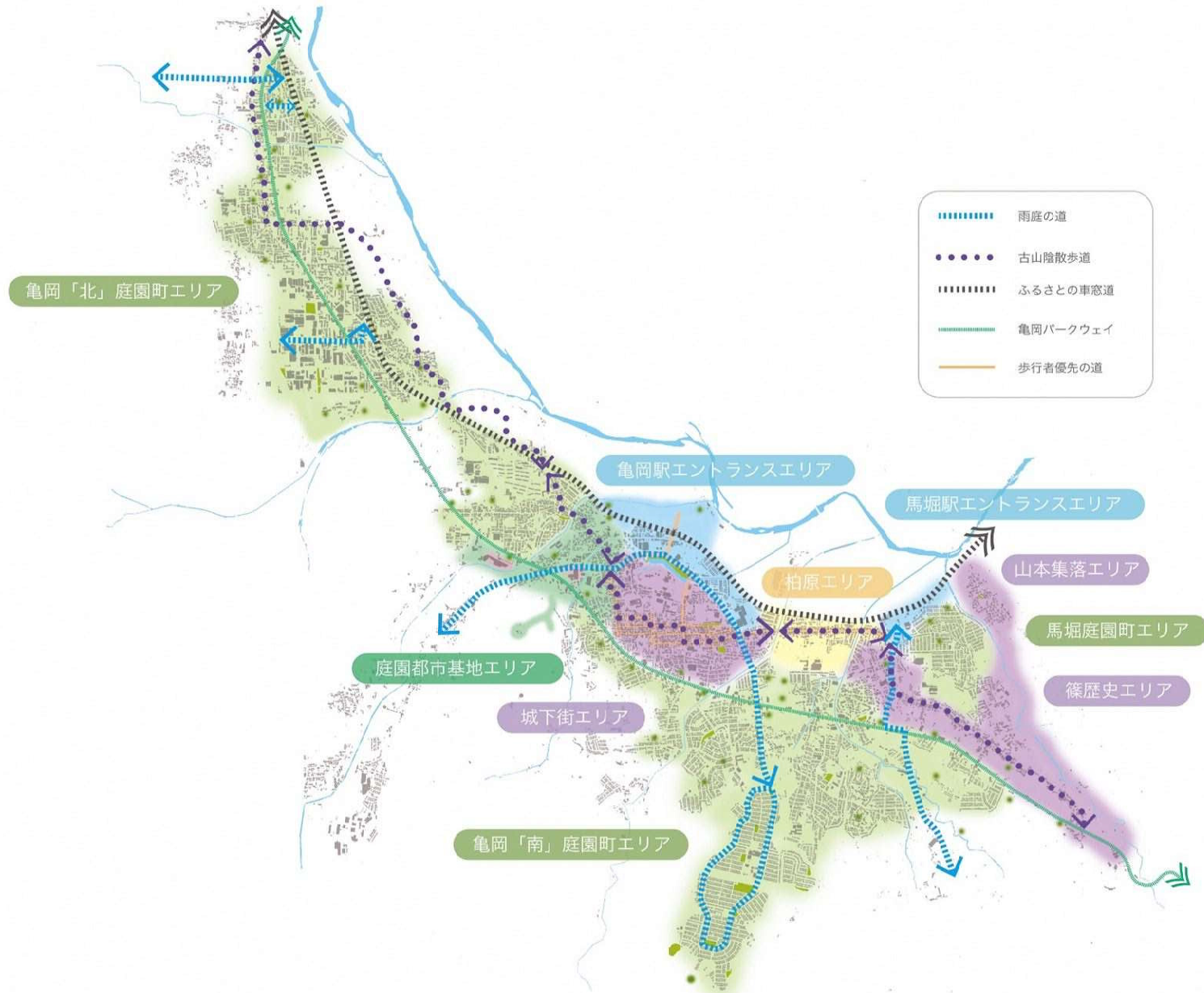


図3-8：亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想（都市部編）のイメージ図

(3) 花と緑による景観保全・創出についての手法提案

1) 主要な提案一覧

花と緑による景観保全・創出方法について、主要な手法の例を以下にまとめた。

【ハード（面的）】公園や広場などのまとまった面積に対してのハード整備の取り組み

【ハード（線的）】道などの線的なハード整備の取り組み

【ハード（点的・常設）】スポット的なハード整備で本格的な工事等が必要となるもの

【ハード（点的・仮設）】スポット的だがプランターの設置や一時的な取り組みなど、取り外し可能で比較的施工が容易なもの

【ハード×ソフト】ハード整備に加えてソフト面の取り組みも同時に必要とするもの。

表3-3：候補となる主要な手法とエリアごとの適用ポテンシャル

手法	亀岡「北」庭園町	庭園都市基地	城下町	亀岡駅エントランス	亀岡「南」庭園町	柏原	馬堀駅エントランス	馬堀駅前	徳村歴史	山本集落
ハード（面的）	公園の雨庭化	●	●	○	●	○	●	○	○	○
	柳に風型公園	●	●			○		○		
	雨庭ポケットパーク	●	●	●	●	○		○	●	
ハード（線的）	フィールドミュージアム街道	●	●	●	●		●	●	●	●
	雨庭の道	○	○		●	○	○	○		
	パークウェイ	●	●		●				●	
	川の遊歩道	○	○		○			○	○	
ハード（点的・常設）	雨庭（駐車場・植栽帯）	●	●	○	●	○	●	●		○
	バス停緑化	●	●	○	●	○	●	●	○	
	雨水を活用した緑化・遊び場	○	○		●		○			
	霧のテラス		●		●					○
	ウェルカムガーデン	●	●	●	●	○	●	●	●	○
ハード（点的・仮設）	雨庭プランター	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	苔オブジェ	○	○	○	○	○	●	○	○	○
ハード×ソフト	水辺カフェ		○	●						
	眺めの道	●	●	●	●	●	●	●	●	○
	雨庭マニュアル	●	●	○	○	●	○	●	●	○
	自然体験型幼稚園・保育園・遊び場	●	●	○	●	●		●	●	○

2) 各手法および関連する事例や背景の紹介

① ハード（面的）手法

ア 公園の雨庭化

住区基幹公園・都市基幹公園と新たに整備される公園、及びウェルカムガーデンを、雨水を周辺から集水・一時貯留・浸透させることで修景に資する雨庭として整備する。

公園の雨庭化には様々なスケール・方法があり、場所ごとに最適な方法を選ぶことができる。例えば、ロンドンのバージェスパークやパリのマセナ再開発地区に設けられた公園は、植栽帯の一部を雨庭化したもので比較的簡易な雨庭整備の例である。大規模な例では、公園全体が雨庭として機能する米国ポートランドのターナーズプリングパークなどがある。



マセナ再開発地区の公園と雨庭（パリ）



バージェスパークの雨庭（ロンドン）

イ 柳に風型公園

河川に隣接した住区基幹公園・都市基幹公園と新たに整備される公園を、亀岡盆地の氾濫原に生息する植物を用いた遊水地として機能させ、地域のグリーンインフラの拠点として整備していく。

気候変動による集中豪雨の激化が予測される今日、洪水と上手く折り合いをつけた土地利用がセーフコミュニティの実現に向けて重要となる。例えば、ブラジルのクリチバ市に整備された遊水機能のあるバリグイ公園(140 ha)は、湿地生態系の再生と人々の憩いの場の提供、防災・減災機能を果たしている。小規模な例では、イギリスのマンチェスター近郊のストークオントレントにあるトレンサムガーデンが好例である。乾燥と湿潤の両極端に強い植物で彩られた空間は、機能性だけではなく審美性においても多くの人を惹きつけている。平常時は、地元の人々や観光客でにぎわい、河川の増水時には遊水地として働いている。



トレンサムガーデン（イギリス）



トレンサムガーデンを彩る乾燥と湿潤に強い植物

【亀岡での先導的な取り組み例】河原町公園—河川と公園の一体整備—

用水路と曾我谷川の合流地点に位置する河原町公園は、河川と公園を一体で整備することで、地域のグリーンインフラストラクチャーの拠点とする。曾我谷川の水位上昇を受け止める遊水地として機能しながら、多様な水生生物の生息地となり、近隣の子どもに豊かな自然体験を提供する場となる。また、旧余部城のお堀であった歴史的背景も踏まえた整備を行うことで、街の履歴を感じられる拠点とする。

福岡県福津市の西郷川と上西郷川の合流地点に位置する「はづき公園」では、川の多自然化と公園の整備を一体となって進め、河川と連続した空間作りを実現している。平常時は園児の遊び場となっている広場は、洪水時の調整池の機能も兼ねている。また維持管理を通じた地域コミュニティの形成や環境教育にも貢献しており、緑地の多機能性を最大限に活かしている先進事例と言える。



現在の河原町公園



はづき公園（福岡県）



河原町公園整備イメージ例 1



河原町公園整備イメージ例 2

ウ 雨庭ポケットパーク

城下町を始めとする街中の所々に、人々が“溜まり”休むことができる場所を設けることで、にぎわいを創出する。人の溜まり空間に水の景を添えることで空間の魅力は倍増することが知られているため、可能な限り「澄んだ水を守る」ための雨水を活用した水辺のあるポケットパークとして整備する。徳島県の雨水を活用した休憩スペースでは、地元の石を用いた水盤も設えられており、亀岡でも桜石や砥石の活用が考えられる。



屋根に降る雨水を活用した休憩スペース（徳島県脇町）

② ハード（線的）手法

ア フィールドミュージアム街道

市内に点在する自然資源や文化資源を結ぶ歩いて楽しむことができる道を整備することで、観光地としての魅力を向上させる。また、舗装や標識に亀岡の自然や文化に関する情報を埋め込み魅力を発信する。

ベルギーのブリュッセル市内では、街の中の自然資源を歩いて回ることができる「グリーンウォーク」というコースが整備され、各スポットの自然についての説明の案内板や道に迷わないための標識が親切に整備されている。神奈川県南万騎駅前再整備では、住民参加によって地元の魅力を伝える舗装を作成している。地元の小学生と6つのテーマ（電車・軌跡・ミステリー・てっぺん・尾根・歴史）に沿って町の魅力を発見する探索ワークショップを行い、抽出した魅力をイラスト化したものをタイルに刻みつけ、広場の舗装に使用したのである。加えて、実際に子どもたちが選んだ場所を歩き回ることができるように街歩きマップも作成されている。亀岡においても市民とともに街の魅力的な景観資源を発掘し、発信していく街づくりが期待される。



市民参加で作成された地域の魅力を伝える舗装（横浜）



グリーンウォークの標識（ベルギー）

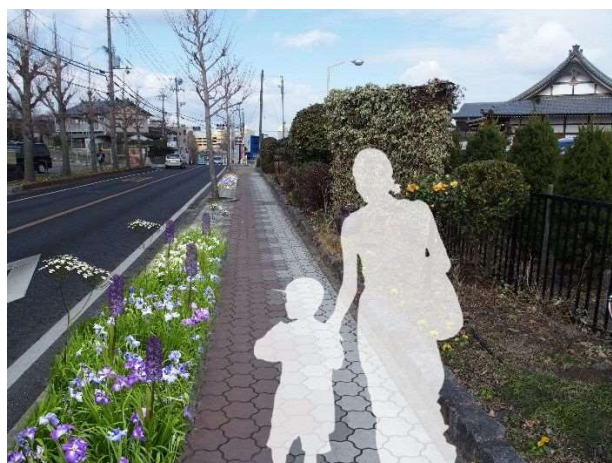
イ 雨庭の道

雨庭の道の整備を進めることで、生態系に配慮し減災にも貢献する地域のにぎわいの軸を創出する。

米国のシアトル市、ポートランド市やイギリスのシェフィールド市など、道路脇の植栽帯を雨庭化することで彩りと潤いが生まれ、街の賑わいを生み出した好例は多い。



シェフィールド市の雨庭の道（イギリス）



亀岡での整備イメージ例（仮）

ウ パークウェイ

亀岡では市外から車で街を訪れる人も多く、市民も車を頻繁に使用することから、車窓からの風景を意識した花と緑による景観の創出を行う。

大掛かりな改変を伴わずとも、すでにある中央分離帯や道路脇の植栽帯の植栽を変えるだけで、街のイメージを一変させた事例も多い。例えば、イギリスのかつての工業都市であったシェフィールド市やバーミンガム市では、街の主要な道路や街の玄関口の道路の植栽帯を工夫することで、花と緑の街としてのブランド化を進めている。



車窓からの風景のための緑化（イギリス）

エ 川の遊歩道

川沿いの遊歩道を整備することで、都市部の各エリアを潤いのある道でつなぐ。

既に鶴ノ川では遊歩道が整備され、標識も設置されている。その他の川においても遊歩道の整備を進めることで、より多様な散策コースを提供することができる。また、既存の河川に加えて、生態緑溝と遊歩道を一体的に整備することで新たな憩いの道を生み出すことも可能である。例えば、ベルギーのブリュッセル市では、分流式下水道の雨水の排水路を「小川と遊歩道」として整備することで、街の新たな憩いの軸を生み出している。

③ ハード（点的・常設）手法

ア 雨庭（駐車場・植栽帯）

駐車場の片隅や建物前の小さな植栽帯を雨庭化することで、澄んだ水を守りながら地域の安全と景観の向上に貢献する。



駐車場の雨庭化（亀岡での展開イメージ例）



ジョンルイス本社前雨庭（ロンドン）

イ バス停の緑化

交通の要所であるバス停を緑化することで、洪水の減災に貢献しながら庭園都市としての亀岡のイメージを発信する。

駅やバス停などの公共交通機関駅は街の動線の重要な結節点であり街づくりの小さな拠点となる。ブラジルのクリチバ市においてバスシステムを構築する際、バス停をガラスチューブ型の近未来的なデザインとした。街の随所で見かける特徴的なバス停は、公共交通機関を主要な移動手段とする環境先端都市のブランド化を視覚的に大いに助けている。バス停の造形を洗練させるだけではなくバス停の屋根を緑化する事例も増加しており、アメリカ、イギリス、ドイツ、スイスなどでバス停の緑化はブームになりつつある。緑化材料として苔が用いられることも多い。亀岡に特徴的な自然資源である苔を用いたバス停を街づくりのシンボルの一つとすることも考えられる。

ウ 雨水を活用した緑化・遊び場

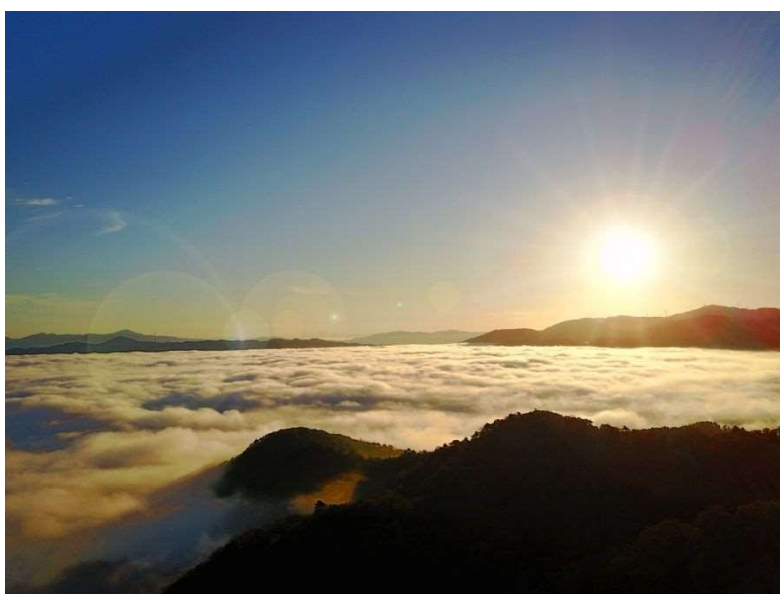
園芸愛好家の中では全国的に有名な亀岡市のハンギングバスケットへの灌漑を、屋上ミニ雨水タンクにより行うことで、亀岡らしい「雨庭」を作り出す。また、幼稚園や保育所では、溜めた雨水を子どもの遊び場で活用する。

柏原の平和池水害の例を見ても、大規模集中型の雨水貯留施設の整備だけでは、金銭的なコストも大きくなる上、想定外の集中豪雨の頻度が高まる時代にリスクが大きい。小規模分散型の雨水貯留を目指す必要があるが、雨庭だけではなく雨水タンクの活用も視野に入れる必要がある。

小規模分散型貯水のユニークな例が、東京都小金井市の屋上ミニダムとフラワーポットである。武蔵小金井商店街では、各店舗の屋上に雨水を溜めると風船のように膨らむフレキシブルミニダムを設置し、ポンプを使わず重力を利用して商店街のフラワーポットへの自動灌水を実現した。

エ 霧のテラス

亀岡盆地の特有の地形が生み出す「濃霧」を楽しむための視点場を整備し、新しい観光名所とする。ハイキングコースの休憩所からカフェやレストランまで多様な整備を行う。



ドローンで撮影した雲海

オ. ウェルカムガーデン

市内の交通の要所や、自然文化資源が集中した地域への入り口などを花と緑で彩ることで、庭園都市としての街のイメージを醸成する。

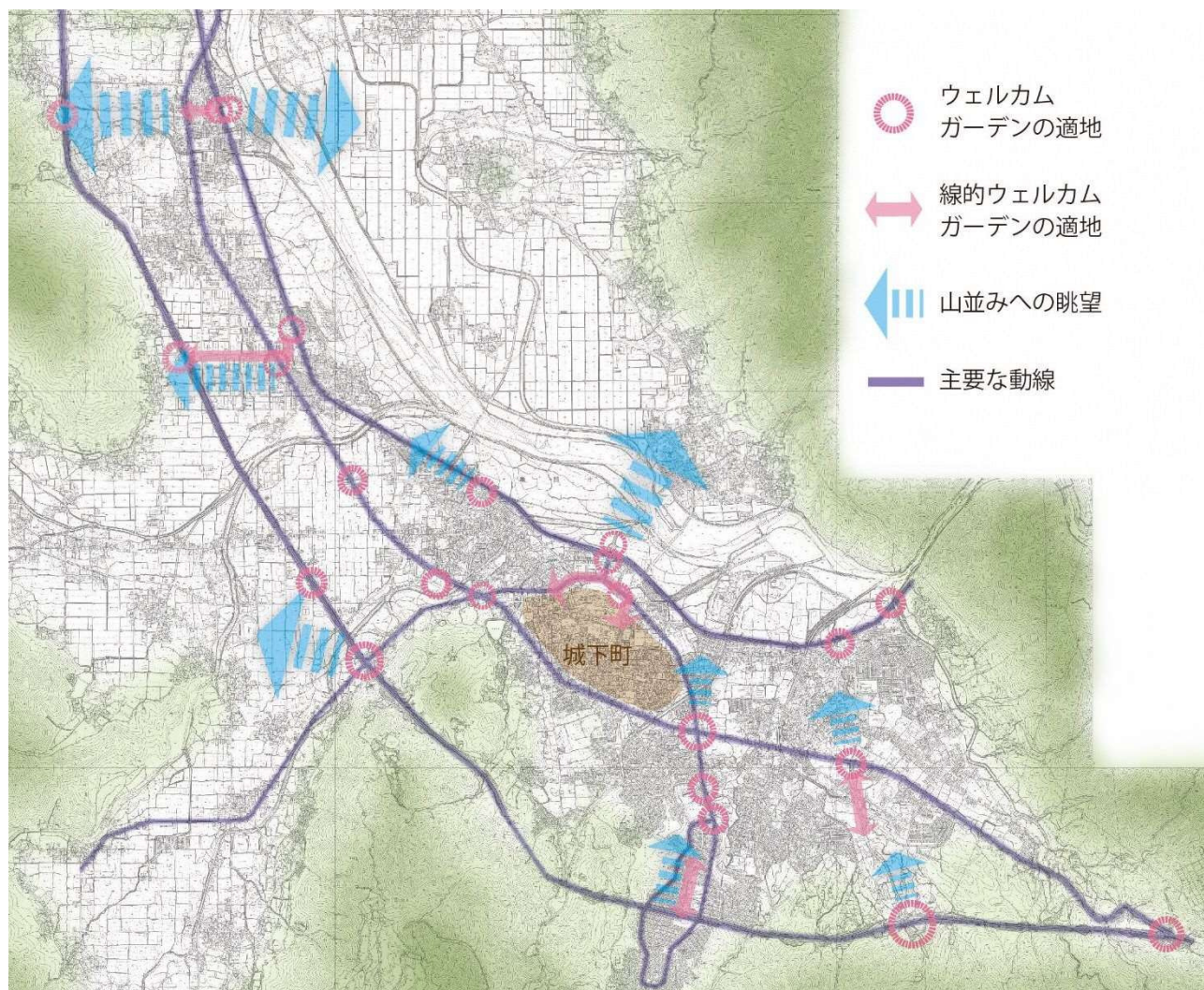


図3-9：ウェルカムガーデンの候補地

(i) ウェルカムガーデンの4つの要件

- ① 山並みへの眺望を確保・演出する。
- ② 亀岡らしさを感じられる素材（植物・石など）で彩る。
- ③ 可能な限り雨庭化することでグリーンインフラとして多様な機能を発揮する。
- ④ 多様なデザインのウェルカムガーデンを整備するが、統一感のあるデザインとする。

(ii) ウェルカムガーデン・ウェルカムロードの重点整備箇所

- ① ウェルカムガーデン（市の玄関口）・・・JR 4 駅周辺、市役所周辺、各 I.C. 周辺、
亀岡駅南～城下町エリア
- ② ウェルカムロード・・・線的ウェルカムガーデンや図4-3：構想（農村部）のイメージ図で示す回廊周辺
- ③ 目的地・・・図4-3：構想（農村部）のイメージ図で示す回廊の拠点周辺

(iii) 看板に関する留意点

- ① デザインコードを設定し、周囲の景観に馴染む素材や色彩を用いる。
- ② 山並みを隠さない高さで設置する。



山並みを引き立てる看板整備のイメージ例

(iv) ウェルカムガーデン重点地区：亀岡駅南～城下町エリア

亀岡市民の日々の生活における重要な玄関口でもある亀岡駅南から城下町周辺は、観光資源も集中しており、ウェルカムガーデンを整備する上で最も重要な地域である。人の流れを呼び込むために、駅の南から南郷公園、南に続く丹波亀山城跡、植物園、城下町への動線は、歴史と緑が感じられる散策路として整備する。特に、駅近の立地と水辺を活かし、南郷公園は駅から一続きのウェルカムガーデンとして整備する。また、南郷池とのつながりを感じられる空間構成やカフェなどの人が自然に集まる施設の設置などの再整備も行う。平和台の展望台へのアクセス性も向上させることで目的地の多様化も目指す。

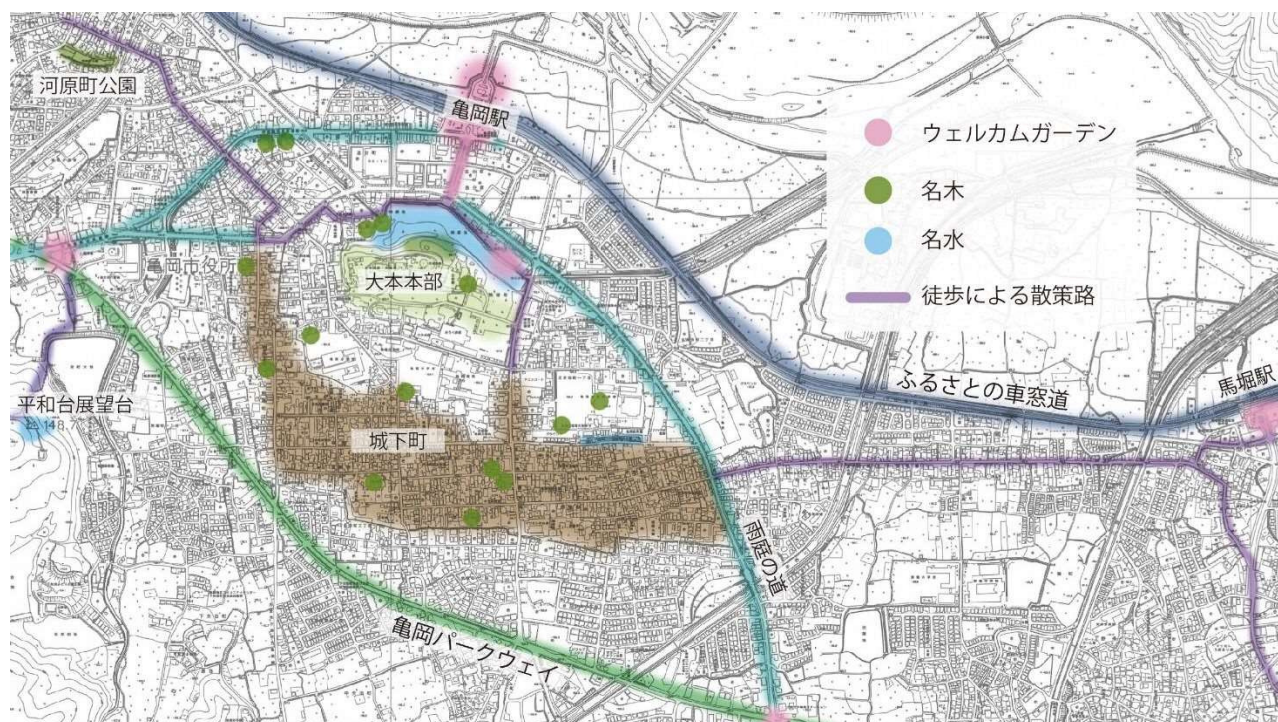


図3-10：城下町周辺の構想

④ ハード（点的・仮設）

ア 雨庭プランター

直接的な土地の改変が難しい場所では雨庭プランターを配備する。

雨庭プランターには、本格的な工事を伴う常設的なものから学校の工作で作る仮設的なものまで多様な種類がある。意匠面も、伝統的な景観に配慮したものから未来的なものまで多様な展開が可能である。また、DIY 型はワークショップなどを通して市民と一緒に取り組めるなど、ソフト面での展開にもつなげやすい。イベント開催時のみの期間限定的な設置など、柔軟な取り組み方が可能である。



城下町における雨庭プランターの展開イメージ例



環境教育用の DIY 雨庭
プランター（イギリス）

イ 苔オブジェ

地元の植物を用いたプランターやコケを用いたオブジェなどを常設・仮設的に展開することで、街全体のつながりやアイデンティティを表現する。

街の各所を結ぶための手法として、共通の形やテーマを持ったオブジェの配置があり、常設的な例としては、境港の鬼太郎ロードが観光振興の成功例として有名である。京都でも、梅小路公園と京都駅間の道を水族館や鉄道博物館にちなんだ小さな彫像がつないでいる。

⑤ ハード x ソフト

ア 水辺カフェ

亀岡駅からも近い南郷公園など重要な拠点となり得る水辺に隣接した空間にカフェやレストランなどを設置する。地域の特産物やエディブルフラワーなどを使用した特色あるメニューを提供することで、都市農村交流の拠点としても活用する。

人々が自然と惹きつけられる場所である水辺の可能性を最大限に引き出し、「人の居場所」に変える装置の一つにカフェがある。近代化に伴って切り離されてきた水辺と人との関係を取り戻す重要なきっかけともなる。日本における成功例として、琵琶湖「なぎさのテラス」、広島県京橋川「水辺のオープンカフェ」、富山環水公園のスターボックスなどがある。

イ 眺めの道

各眺望点や主要な道、交通の要所などから牛松山を始めとする美しい山並みへの眺めを確保することで、亀岡らしい景観を演出する。

ロンドン眺望景観保全計画では、歴史的に重要でランドマークとなる建物への眺望を確保するため、2007 年から建築物の高さ制限等に関わる決まりが制定された。亀岡では、牛松山を始めとする盆地の山並みが重要な景観資源である。例えば、駅北開発では重要な視覚的な焦点に牛松山が据えられる。

ウ 雨庭マニュアル

雨庭の作成意義や施工方法を解説したマニュアルを作成し、配布することで、雨庭の普及啓発を行う。

市民参加型の雨庭の取り組みとしては、専門家と協働して整備を行う事例や、配布された施工マニュアルを参考にして市民が自主的に近隣住民との協力によってDIYで施工する事例など多様な方法がある。専門家と市民の協働の例として、ロンドンのダービーシャイアストリートポケットパークがある。設計や大掛かりな工事は専門家のチームが行ったが、植栽は近隣の住民が自ら行う機会を設けた。今では、パーティなども催されるコミュニティの憩いの場となっている。

雨庭の取り組みを最初に始めたアメリカのメリーランド州では、雨庭をつくるメリットと施工方法が解説された「雨庭マニュアル」を配布し、住民が隣人と協働して施工する方法で雨庭が普及した（舗装を剥がす必要などがない芝生などの既にある緑地の改変であることが多い）。その他に住民が施工に参加できる取り組みとして、ガレージや自転車置き場などの小さな構造物の屋上緑化などがある。

エ 自然体験型の幼稚園・保育園・遊び場

田んぼの泥や澄んだ湧き水、豊富な草花や水生生物など、亀岡の自然を生かした幼稚園、保育園、子どもの遊び場を整備する。良好な環境で子育てができることは、若い子育て世代にとって住み続けたい街の魅力として重要な要素となる。また、幼少期より地域の原風景を構成する自然や文化に触れることで、ふるさとへの愛着が育まれることも期待できる。近年、崖のぼりや水遊びなどの挑戦的な遊びや、季節の草木に親しめる園庭を持つ幼稚園や保育園が増えてきている（神奈川県横浜市の「川和保育園」、東京都大田区の「大森みのり幼稚園」、静岡県「野中保育園」など）。

【亀岡での先導的な取り組み例】ふれあいプラザ

未就学児が親子で集まるふれあいプラザの外庭の整備により、地域のグリーンインフラの拠点の一つとする。人の神経系の90%が5歳までに完成することが明らかになっており、0～3歳はその基礎を築く大切な期間である。ゆえに、再整備にあたっては、0～3歳児が発達段階に応じて必要となる多様な運動の機会を提供できる遊び場を目指す。また、幼少期より田んぼの畔を始めとする亀岡の原風景を構成する植物と安全に触れ合う場ともなる。排水路であり遊び場でもある雨庭は、周囲の水環境への負荷を軽減しながら、多様な種類の植物に触れ天気の変化を感じ取る場を提供する。育成スペースでひまわりなどを育てることも可能で、コミュニティの交流の場としての活用も視野に入れる。



ふれあいプラザ室内



ふれあいプラザ 園庭



ふれあいプラザ園庭 整備イメージ例

（４）地域資源の保全と観光振興についての手法提案

１）主要な提案一覧

地域資源の保全と観光振興についての手法を頻度別に以下にまとめた。

表３－４：観光振興に関する手法

種類	頻度	手法
イベント（高頻度）	週や月に一度	城下町マルシェ
イベント（低頻度）	半年や一年、数年に一度	オープンガーデン 霧の芸術祭
ツアー	・ 多様な頻度 ・ ガイドを伴わない場合 などは日常的に実施	名木巡り 名水巡り コケ巡り 霧見ツアー 市民・企業によるプログラムを推進する体制の整備

２）各手法および関連する事例や背景の紹介

ア 城下町マルシェ ～市内の都市農村交流～

「トカイナカ」とも表現される里地里山と都市的な環境が市内に共存する亀岡市の強みを活かした取り組みの一つとして、ファーマーズマーケットを定期的を開催する。

【展開例】

- ・ 人の集まりやすい城下町で週末にマーケットを開き野菜やお酒・醤油などの地域の特産物を販売する。
- ・ 郷土料理の屋台を出す。

- ・「名木」や「名水」のある寺社の敷地や公園、学校で開くことで亀岡の歴史や自然を体験してもらう。
- ・農産物の販売に加えて、農業体験ツアーの紹介や申し込み窓口を設けるなど、マーケットを亀岡の魅力に触れるための入り口として機能させる。
- ・庭園都市としてのPRも兼ねて、モデルガーデンの展示や種苗の販売、オープンガーデンなどと連携する。

イ オープンガーデン

平成 17（2005）年に亀岡市制 50 周年で始まったオープンガーデンと、花と緑のフェスティバル、さくらまつりなど他のイベントをより密に連携させ、事業を活性化する。地域の緑を活かしたモデルガーデンや雨庭プランターの展示・コンテストなど、プログラムをより充実させる。また、「庭」に限ることなく、民家の名木などもツアーに組み込み、亀岡の市民が育んできた全ての自然資源をオープンにしたプログラムへと展開を広げる。

ウ 霧の芸術祭

亀岡の立地の独自性に加えて、名木、名水、濃霧、歴史、都市に隣接した農的景観などを活かした展示を行うことで、芸術祭を亀岡の地域性溢れるにぎわい振興の柱の一つとする。

越後妻有の大地の芸術祭や瀬戸内国際芸術祭など、地方の環境を活かした芸術祭によるにぎわい振興に注目が集まっている。一方で、福岡や横浜など都市型の芸術祭も開催されており、場所に限らない芸術の誘客力と地域の意外な魅力の発掘力に注目が集まっていると言って良い。亀岡では、都市部の大きな公園や会場が使用可能な一方で、里地里山エリアに作品を分散させることもできる。亀岡は、都市型にも里地里山型にもよらない非常に「中間的」な開催地と言える。

エ 各種ツアー（名水・名木・コケ・霧）

ガイドマップやミニ図鑑を用意し、自由に散策してもらう形式や、ガイドを育成してツアーを用意するなど多様な形式のツアーを用意する。名木ツアーは既に開催されているが、山本集落の石垣と一体化した庭木など、亀岡ならではの目的地をより充実させる。コケの場合は、観察できる種類と同定の難易度に応じて複数のコースを用意することで、初心者から熟練者まで様々なコケ愛好家を呼び込む。

オ 市民・企業によるプログラムを推進する体制の整備

観光振興に関わるプログラムを計画し、参加者や運営者を募るだけではなく、様々なアイデアを持つ市民や企業が主体的にプログラムを企画・運営しやすい仕組み作りも進める。

「水都大阪」プロジェクトでは、街の中の使用可能な場所を市民や企業とマッチングさせる窓口である「水都大阪パートナーズ」と、かつてはバラバラであった河川、港湾、公園、道路などの窓口を一元化した「水都大阪オーソリティー」を設置することで、企画・運営に関わる手続きを容易にした。また、街づくりへの関心の度合いに応じて関わり方を段階的に選べる仕組みが出来上がっている（「イベントに参加するだけ」、「企画されているイベントの運営を手伝いたい」、「自分もイベントを企画・運営したい」など）。

亀岡においても、市民や企業がそれぞれのアイデアや得意な技術を生かした取り組みを実施し易い体制を整備することが重要である。街づくりへの参加の窓口を段階的に設けることで、イベントに参加した市外の人々が亀岡でプログラムを行うようになり、市内と市外の交流が深まることも期待できる。

(5) 重点地域における提案：駅北地区および周辺地域

都市部では駅前広場の整備により新しい亀岡の玄関口となるため、亀岡駅北地区及び周辺地域を本構想の概念を具現化する都市部のコアの区域として位置付ける。今後の具体的な駅前広場の設計に向け、調査・研究を経て浮かび上がってきた広場の整備にあたり重要となる概念やキーワード等を以下に整理した。

【目標】

- 「ハレ」の日（スタジアムでの試合・イベントの開催）と「ケ」の日（日常）の二つの顔で街の賑わいに貢献する。
- 70 m 幅の駅前広場を「街の顔」として整備する。
- ガーデン・フィールドミュージアムの玄関口とする。
- グリーンインフラストラクチャーを通して持続可能な社会へ貢献する。

【計画の具体化に向けて①】キーワードや手段・要素の候補

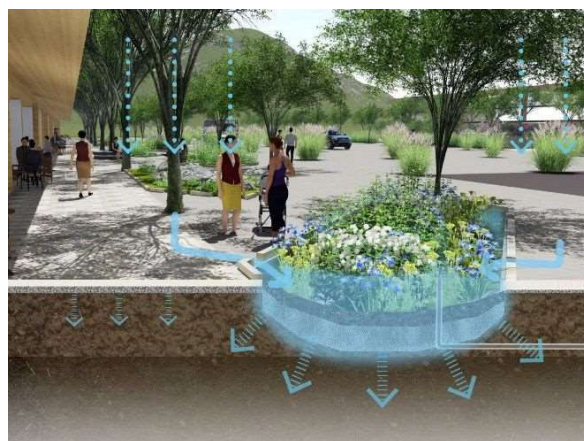
- 『歩行者主体のデザイン』による歩車共存（ハレとケの交通量の違いに対応）の工夫
- 『水を楽しむ広場』を目指した多機能なサンクンガーデン
- 『心地よい領域感』が賑わいを生み出すサンクンガーデン・オープンテラス
- 『ミニ博物館』：「重要里地里山 500 選」である亀岡盆地氾濫原の文化・自然資源に出会う入り口
- 『他エリアとの連携』：京都・亀岡保津川公園（フィールドミュージアム）やスタジアムへ誘う仕掛け
- 『雨庭（多機能な植栽帯）』：修景・生物多様性の保全・周囲の水環境に負荷をかけない開発
- 『植栽アドプト制度』：雨庭と街路樹の持続的管理
- 『牛松山』を主景に構成される広場

【計画の具体化に向けて②】モチーフ・ミニ博物館の要素例

- ・『亀岡の原風景』：名木・名石・盆地景と桂川・じゃこ田・畦畔木と水田・霞堤
- ・『保津川下り』
- ・『豊かな水生生物』：アユモドキ・カエル 10 種・淡水魚 50 種・オニバス
- ・『和の花』：ヒガンバナ・キキョウ・フジバカマ
- ・『偉人』：石田梅岩・円山応挙・中川小十郎・出口王仁三郎・並河成資など



牛松山を主役に据えた広場のイメージ例



雨庭のイメージ例



オープンカフェのイメージ例



雨庭ロータリーのイメージ例



ケの日も子ども達で賑わう広場のイメージ例



ハレの日にイベントが開催される広場のイメージ例